

6月6日～12日は危険物安全週間 「事故ゼロヘ トライ重ねる ワンチーム」

私たちの生活の中には、ふだんは気にも止めず使用しているたくさん危険物があり、使用方法を誤ると、火災などの大事故につながります。みなさんも、もう一度使用方法を読み、正しく取り扱いましょう。

◆生活の中にある危険物

暖房・給湯用燃料の灯油、自動車用燃料のガソリン・軽油、家庭用燃料のプロパンガス・都市ガス、各種食用油、オーデコロン・マニキュア・ヘアスプレーなどの化粧品、殺虫剤、防腐剤、油性塗料など

◆貯蔵・取り扱いの注意

- ①容器は使用のつど密閉する
- ②直射日光を避け、低温で風通しの良い場所に保管する
- ③火気の近くでは絶対に取り扱わない
- ④スプレー缶などを処理するときは穴等をあけ、残ったガスを完全に抜き取る
- ⑤保管場所の換気をする

問合せ＝奈良県広域消防組合 大和郡山消防署 予防課
(☎59-1289)



教科書展示会

令和3年度の中学校教科用図書を展示します

令和2年度に文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることになりました中学校社会(歴史的分野)についても展示します。

期間＝6月11日(金)～7月9日(金)

※毎週火曜、第1・3水曜除く。

場所＝市立図書館(2階教科書展示コーナー)

問合せ＝学校教育課(内線723)



■くらしのインフォメーション■

ひとりで悩まないで

わたしたちに
ご相談ください!



電話機に特殊詐欺 の対策を!

大和郡山市消費者センター
☎53-1583(直通)
相談受付 月～金曜日
9時～16時

昨年(令和2年)、奈良県での特殊詐欺被害は175件と件数は前年と同じでしたが、被害額は前年比+7230万円の3億1070万円と大幅に増加しました。昨年もっとも多かったのは「あなたの口座が悪用されている、すぐに口座凍結の手続きをする必要があると電話があり、銀行員や警察官に扮した犯人が被害者の自宅までキャッシュカードを取りに来て、暗証番号も聞きだされる」というキャッシュカード型の手口でした。

ところが今年3月ごろから、市役所の職員を名乗って「医療費の還付金があります。手続きはされましたか?」と電話がかかり、銀行のATMに行くよう言われ指示通り操作をしたところ、気づいたら知らない口座に50万円を送金していた、という還付金詐欺の手口が急増、大和郡山市でも預金がだましとられる被害が実際に発生しました。

いずれにしても、金融機関の職員や警察官が自宅を訪れ、カードを預かったり暗証番号を聞いたりすることはありません。また市役所から還付金があると電話をかけることもありませんし、ATMを操作して還付金を受け取ることもできません。

特殊詐欺の多くは自宅にかかってくる1本の電話から始まります。被害を防止するには、在宅中も留守番電話にしておくことが有効です。また電気店では、特殊詐欺への対策機能が付いた電話機が多く販売されています。消費者センターでは、全国防犯協会連合会推奨の「優良防犯電話」への買い替えに対し、購入価格の半額(最大で10,000円)を補助しています。自宅のドアに鍵をかけるのと同じように、電話機にもぜひ防犯対策を行いましょう。

問合せ＝市民相談室(内線245)